

横田基地における演習の実施等について

このことについて、防衛省北関東防衛局から、別紙のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。

なお、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会は、下記のとおり口頭要請を行いましたので、併せてお知らせします。

記

○ 口頭要請内容

(1) 要請日

令和5年10月13日（金）

(2) 要請先

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

北関東防衛局長

横田防衛事務所長

(3) 要請内容

令和5年10月11日（水）に北関東防衛局から「令和5年10月16日（月）から同年10月27日（金）までの横田基地における演習の実施等について、日曜日を除く24時間体制で行い、航空機の運用や、PASの使用に加え、GBS、バッシュキャノン、煙幕等及び空包を使用する場合があります。特に10月20日（金）から25日（水）の間は大きな音が発生する場合があります。この他、10月19日（木）午前10時から正午までの間、約35名の模擬抗議集団の対応演習が行われる予定。なお、一部訓練において自衛隊が参加予定」との情報提供を受けた。

従前より、当協議会からは、土曜日、日曜日、日本の祝日等において、航空機の飛行等による騒音を発生させないことや、通常の利用時間帯以外での訓練を極力実施しないよう求めてきた。

夜間早朝に行われる航空機の運用やPAS等の使用による騒音は、横田基地周辺の住民の睡眠等が妨げられるなど、その影響は非常に大きなものであり、健康被害や不安の増大につながるものである。

こうした周辺住民の生活環境への影響を踏まえ、次のとおり要請する。(※)

- 当該期間には、土曜日、日曜日が含まれていることから、騒音の発生について特に配慮すること。
- 市街地上空での低空・旋回飛行訓練は行わないこと。
- 夜間早朝に航空機の運用やPAS等の使用を行わないこと。
- 通常の利用時間帯以外での訓練を極力実施しないこと。
- 使用する航空機においては、安全対策の徹底を図り運用すること。
- 周辺住民への不安軽減のため、特に、通常の利用時間帯以外で実施される騒音を伴う訓練については、その詳細な日時等について情報提供を行うこと。

※国に対しては、「貴職に置かれては、こうした周辺住民の生活環境への影響を踏まえ、訓練に関わる自衛隊に周知するとともに、次のとおり米軍に改めて申し入れを行うよう要請する。」と要請

令和5年10月11日

横田基地における演習の実施等について

横田基地広報部より以下のとおり情報提供がありましたので、お知らせいたします。

【情報提供内容】

1 演習の名称

ビバリー・モーニング 24-01

2 実施期間

令和5年10月16日（月）～同年10月27日（金）（日曜日を除く24時間体制）

3 目的

航空機の運用を含む横田基地の即応体制をテストするもの。

4 内容等

○航空機の運用について

- ・C-130が参加予定。
- ・戦闘機を含む外来機及びCV-22の参加予定はない。
（演習以外で飛来する場合がある）

○PAS、GBS、バッシュキャノン及び煙幕等の使用について

- ・通常運用時間内（0600-2200）に上記及び空包を使用する場合がある。

5 その他

- ・10月19日（木）午前10時から正午までの間、横田基地内及び福生ゲート付近において約35名の模擬抗議集団の対応演習が行われる予定。
（基地外に影響を及ぼさないよう実施する予定）
- ・特に10月20日（金）から25日（水）の間は大きな音が発生する場合がある。
- ・10月23日（月）に全ての基地ゲートを30分程度閉鎖予定。
- ・人員降下訓練の実施予定なし。
- ・一部訓練において自衛隊が参加予定。
- ・演習等の予定は、運用状況や天候によって変更となる場合がある。
- ・演習終了の通報を行う予定。

6 北関東防衛局における対応

北関東防衛局から米軍に対し、当該演習の実施に当たっては、安全対策に万全を期すとともに、日米合同委員会合意を遵守し、周辺住民に与える影響を最小限にとどめるよう配慮を申し入れた。

(参考)

- ・ P A S (Public Address System) : パブリック・アドレス・システム
大音響の出る特殊なスピーカを使用し、サイレンや広報を行なう。
- ・ G B S (Ground Burst Simulator) : グラウンド・バースト・シミュレーター
地上爆発模擬装置。金属製の容器内で爆発物を破裂させ、爆発音を発生させる。
- ・ バッシュキャノン (Bash Cannons) : 滑走路上の鳥を追い払うための、疑似音を出す装置